1. マップの活用方法

内水ハザードマップとは、大雨により下水道や水路等から雨水が溢れることによって、想定される浸水範囲や深さを表したり、過去の浸水箇所、土砂災害の情報や、被害の軽減を図るため日頃からの備え･対策などの情報をまとめたものです。

ハザードマップの活用方法

Step 1

自宅付近が浸水想定区域内か確認しましょう。

Step 2

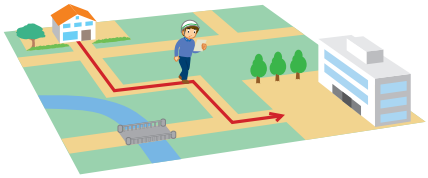
避難所及び避難経路を確認、検討しておきましょう。

Step 3

実際に避難経路を歩いて危険な場所がないかを確認しましょう。

Step 4

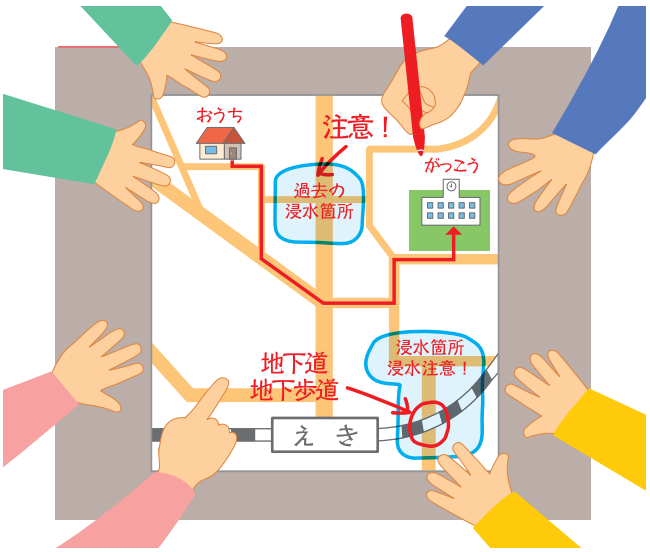
実際に歩いた情報をまとめて我が家の避難地図を作りましょう。



確認事項

- □河川や水路の近くを通らないか？
- □地下道や地下歩道を通らないか？
- □マンホールや側溝、深くくぼんだ場所を通らないか？
- □土砂崩れが起きそうな場所を通らないか？

別の安全な避難経路も確認しておきましょう。



和歌山市防災マップも合わせて確認しましょう

防災マップには、河川堤防決壊等に起因した河川の浸水範囲や、地震に伴う津波の浸水範囲等の情報が記載されています。

大雨が長時間続くと、河川がはん濫するおそれがあります。内水ハザードマップと合わせて、洪水時の避難も確認しましょう。